

CI-NET 利用状況調査結果報告

1. アンケート実施概要

(1) 実施目的

CI-NET 導入企業に対する CI-NET 利用の実態把握および普及のための課題把握

(2) 実施対象

CI-NET 電子証明書利用企業のうち、電子証明書の取得／更新手続き以外の目的での使用を許諾している企業 7,514 社

(3) 実施時期

2024 年 8 月 30 日～2024 年 9 月 27 日

(4) 回収状況

全回答数 : 2,553 社 (WEB 回答 : 2,484 社、エクセル回答 : 69 社)

回収率 : 34.0%

(5) 設問一覧

今年度調査における設問事項は以下のとおり。

大項目	中項目	回答対象者	2024 年度
回答企業の基本情報	許可業種、その他の業種	全回答者	Q1.建設業許可取得有無
		全回答者	Q2.許可業種
		全回答者	Q3.その他の業種
	企業規模等	全回答者	Q4.資本金
		全回答者	Q5.年間概算完工高
	営業地域	全回答者	Q6.営業地域（全国展開有無）
		全回答者	Q7.営業地域
	CI-NET 利用の立場	全回答者	Q8.CI-NET 利用の立場
	CI-NET の利用状況 (受注者の立場)	受注側企業	Q9.CI-NET の利用業務
		受注側企業	Q10.発注元企業数
		受注側企業	Q11.取引先発注元企業名
		受注側企業	Q12.取引先発注元企業への拡大を希望する業務
今後の展開 (受注者の立場)	今後 CI-NET を導入してほしい発注元企業	受注側企業	Q13.導入を希望する発注元企業
		受注側企業	Q14.導入を希望する発注元企業との間で利用したい業務
	2 次下請電子商取引への展開	受注側企業	Q15.2 次下請電子商取引への展開
		受注側企業	Q16.CI-NET の利用業務
		受注側企業	Q17.2 次展開への具体計画
社内システムとのデータ連携方法	データの取り込み方法	全回答者	Q18.社内システムへのデータの取り込み方法
	連携しているシステム・ソフトウェアについて	全回答者	Q19.CI-NET データと連携しているシステム
		全回答者	Q20.日本電気株式会社（建設業向けシリーズ等）の利用商品名
		全回答者	Q21.富士通 Japan 株式会社（建設業向けシリーズ）の利用商品名
利用システム	CI-NET 以外のサービスについて	全回答者	Q22.CI-NET 以外の電子商取引サービス利用
		全回答者	Q23.CI-NET 以外のシステムを利用している場合のシステム名
		全回答者	Q24.CI-NET 以外のシステムでの業務内容
		全回答者	Q25.実施しているその他業務
		全回答者	Q26.CI-NET 以外の電子商取引サービスのメリット/デメリット
	CI-NET サービス名	全回答者	Q27.使用中の CI-NET サービス・ソフトウェア
CI-NET に係る要望	企業識別コード」と「電子証明書」の発行手数料	全回答者	Q28.「企業識別コード」と「電子証明書」の発行手数料
	申込手続きに関する要望	全回答者	Q29.申込手続きに関する要望
	ASP・パッケージベンダサービスの利用費用	全回答者	Q30.ASP・パッケージベンダが提供しているサービスの利用費用
	ASP・パッケージベンダサービスへの要望	全回答者	Q31.ASP・パッケージベンダが提供しているサービスに関する要望

2. 集計結果報告

2.1. 回答企業の基本情報

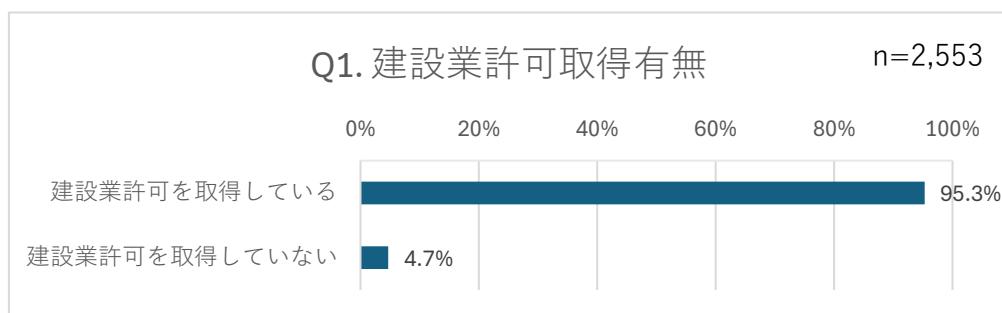
問1～8では、回答者の「業種」、「資本金」、「年間概算完工高」、「営業地域」、「CI-NETの利用立場」を伺った。

結果をそれぞれP.3～11に示す。要点は以下のとおり。

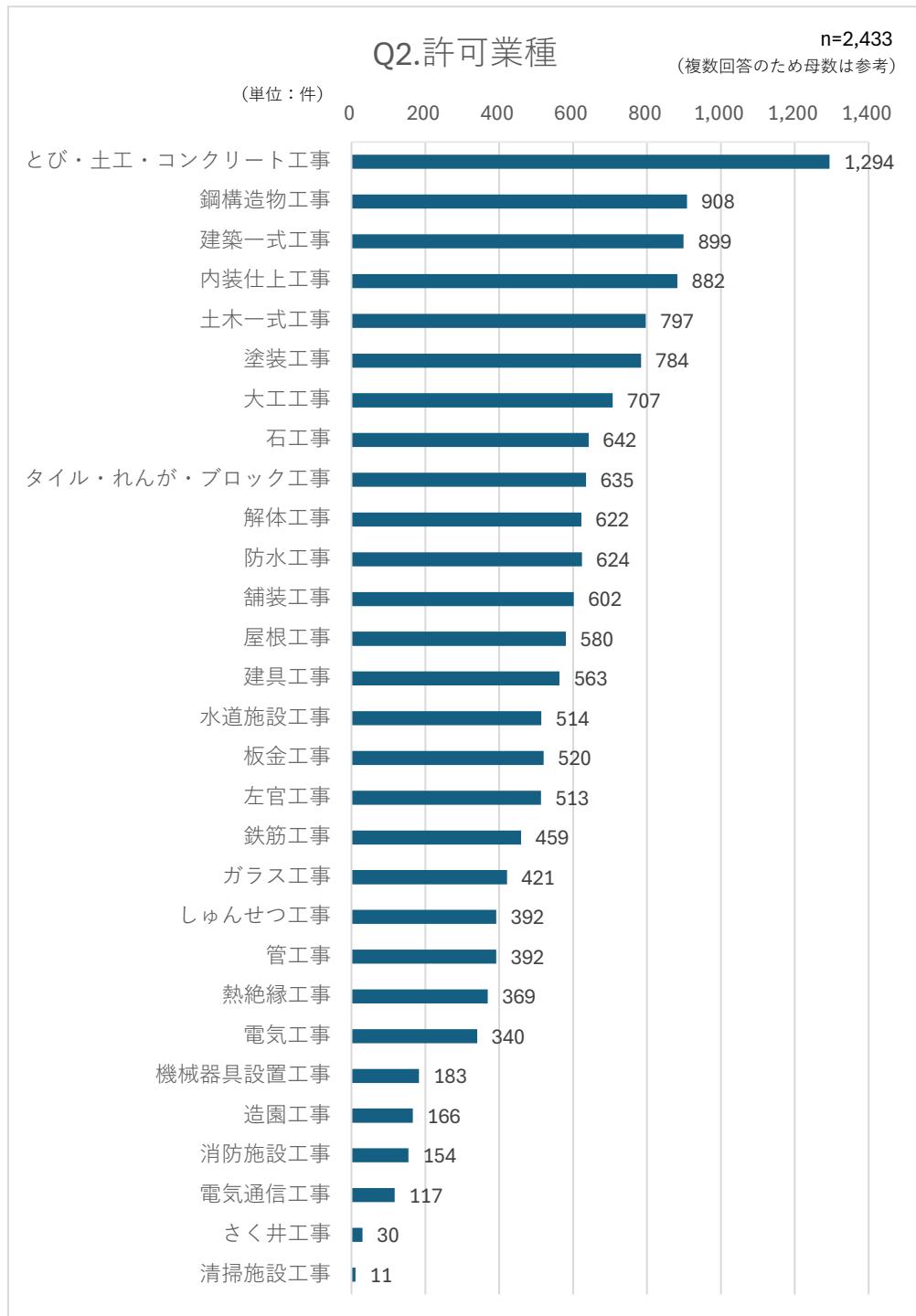
- ・ 過年度の調査結果と比較すると、ほぼ同様な比率、傾向性となっている。
- ・ 業種は、「とび・土工・コンクリート工事」業に次ぎ、「鋼構造物工事」業及び「建築一式工事」業等が多い。(問2)
- ・ 建設業許可業種以外としては、「測量」、「警備保障」、「資材」、「商社」等が多く見られる。(問3)
- ・ 資本金規模は、2,000万円未満の企業が50.2%となっている。(問4)
- ・ 年間概算完工高は、5億円未満の企業が全体の48.1%となっている。(問5)
- ・ 営業地域は、全回答企業の2割程度が全国展開と回答している。(問6)
- ・ 利用立場は、受注者としての利用が9割を超える。(問8)

(1) 許可業種、その他の業種

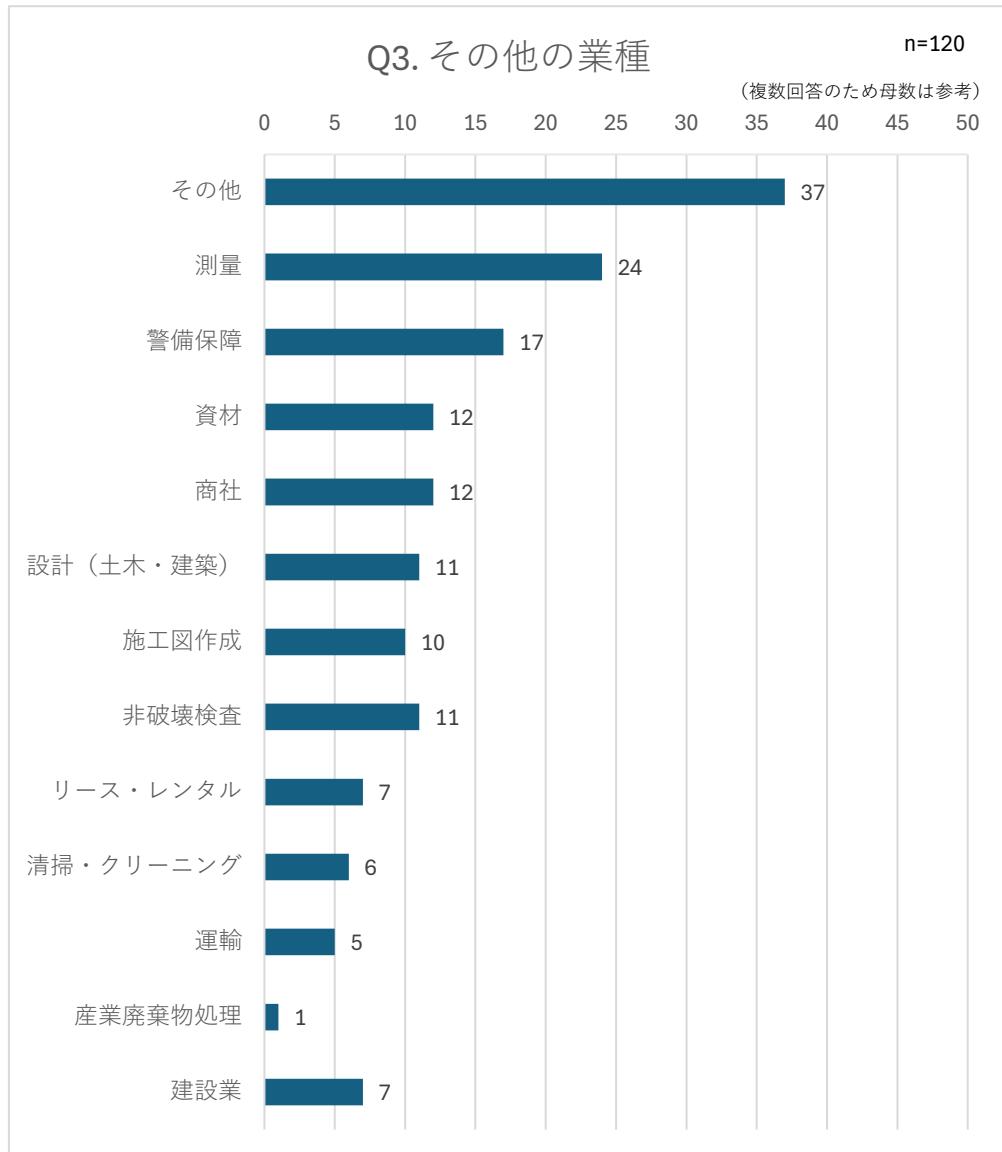
■ 問1 貴社は建設業許可を取得していますか？



■ 問2 貴社の許可業種を、以下の選択肢の中から、いくつでも選んでください。



- 問3 貴社の業種について、次の選択肢の中から、あてはまるものを、いくつでも選んでください。「13. その他」を選ばれた場合は、空欄に具体的に内容をご記入ください。

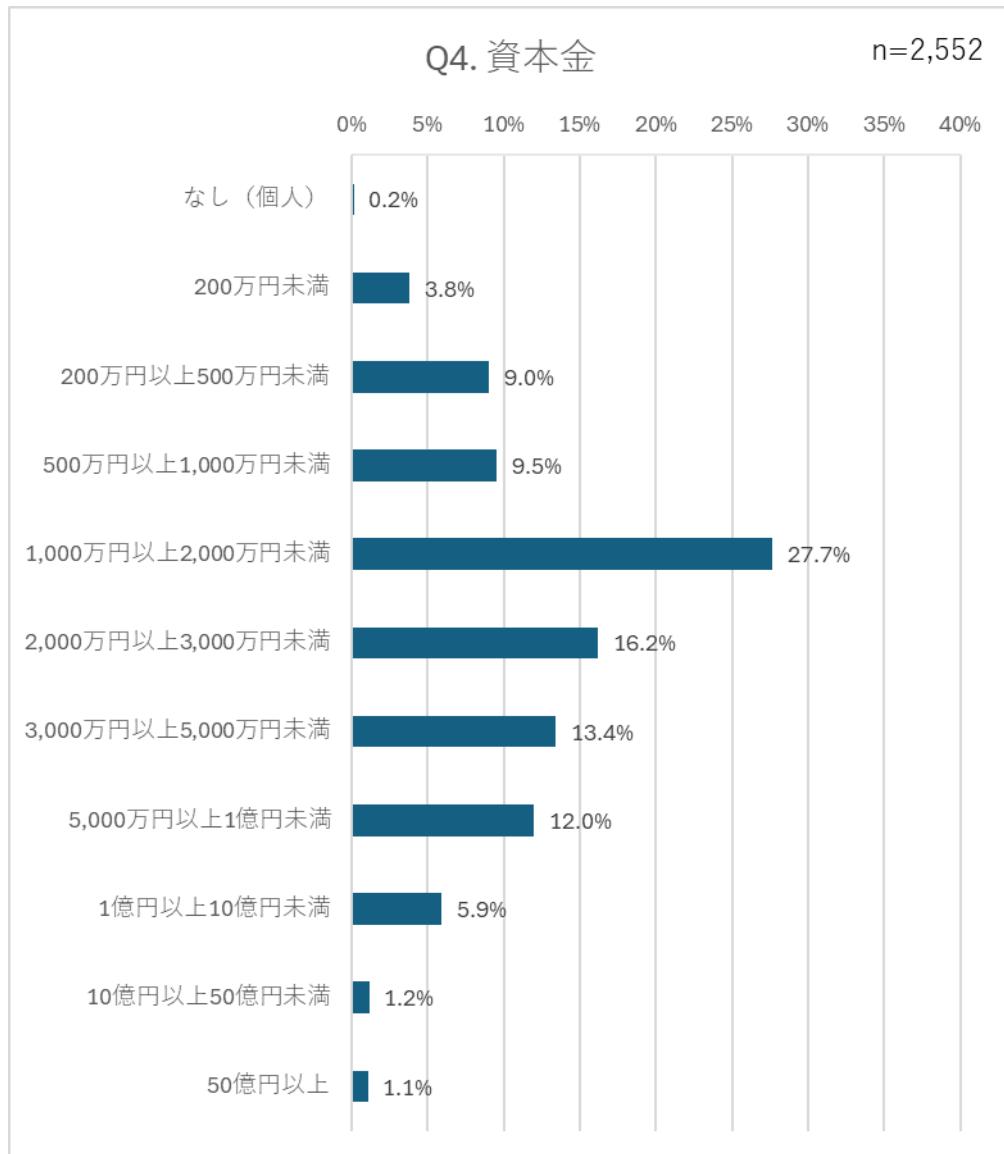


「13.その他」とご回答いただいた企業の業種・業務内容

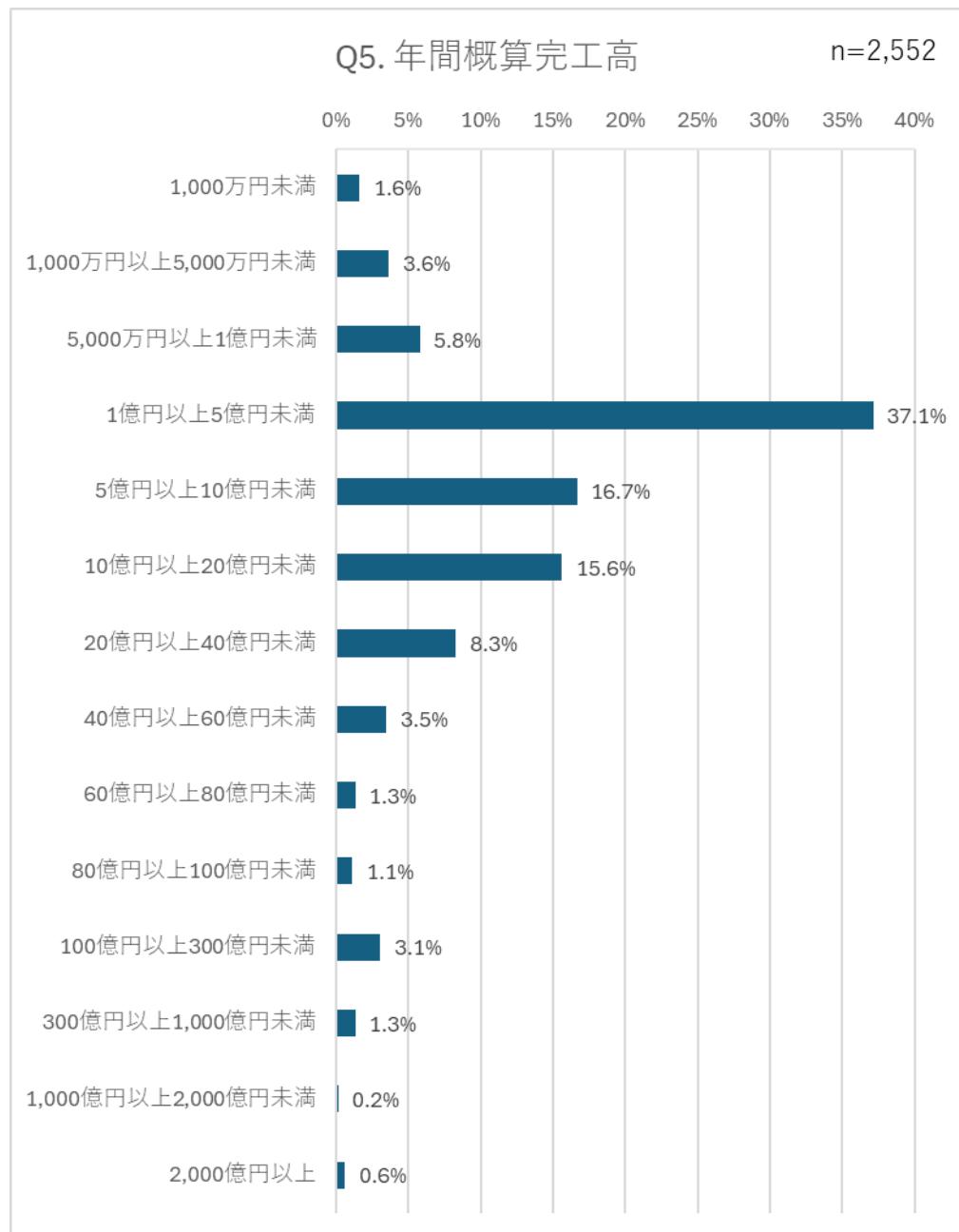
分類	分類別回答数	No.	業種・業務内容
検査・試験	9	1	地質調査
		2	環境分析
		3	磁気探査
		4	調査
		5	点検
		6	地質調査
		7	試験
		8	試験・検査
		9	コンクリート試験
積算	5	10	建築積算
		11	積算事務所
		12	建築積算
		13	積算
		14	建築積算
設計	2	15	下水道設計
		16	建築構造設計
人材派遣	2	17	派遣
		18	人材派遣
廃棄物処理	1	19	産廃
情報・通信	1	20	通信機器及びシステムの保守全般に関するサポートと技術支援
卸売り	1	21	卸売業
その他	16	22	情報サービス業
		23	墨出し、測量
		24	建設コンサルタント業
		25	フロンガス回収工
		26	不動産業
		27	ビルメンテナンス
		28	生コンクリート協同組合
		29	免震・制震装置の納入
		30	看板業
		31	補償コンサルタント
		32	内装工事
		33	生コンクリート製造販売
		34	情報・印刷
		35	埋蔵文化財発掘調査
		36	建工具事業
		37	製造業

(2) 企業規模等

- 問4 貴社の資本金を、以下の選択肢の中から1つだけ選んでください。

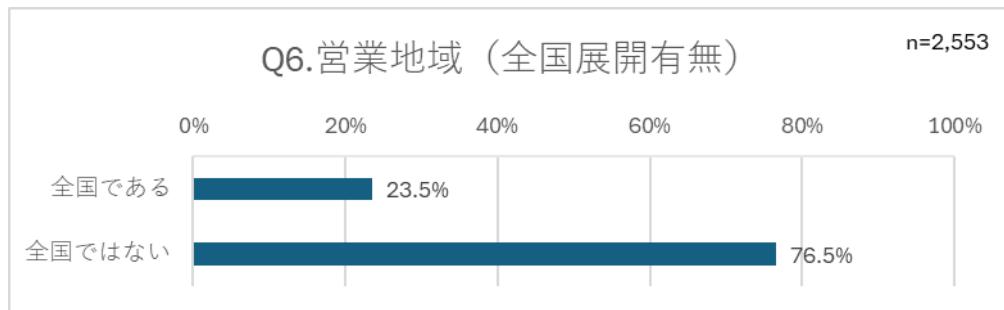


■ 問5 貴社の年間の概算完工高を、以下の選択肢の中から 1つだけ選んでください。

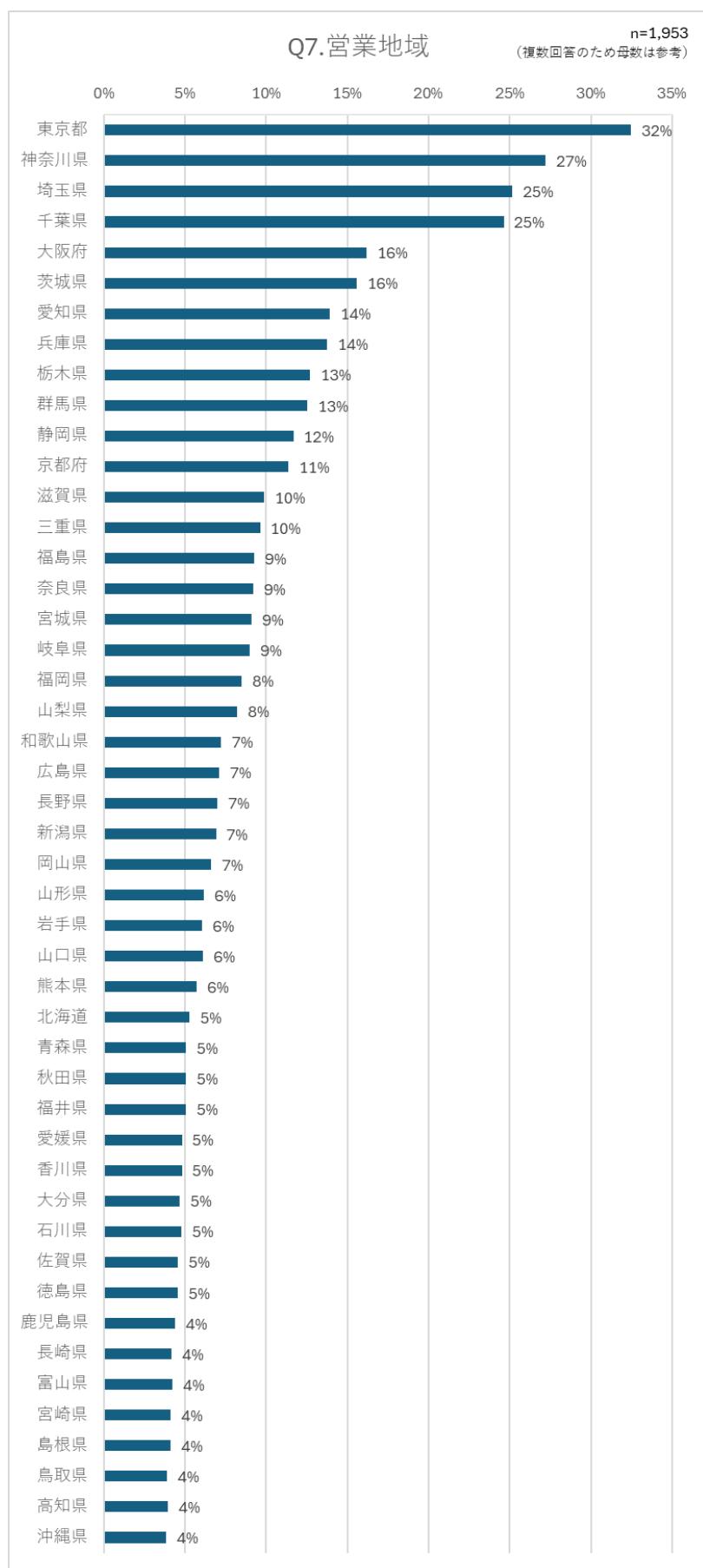


(3) 営業地域

■ 問6 貴社の営業地域は全国ですか？

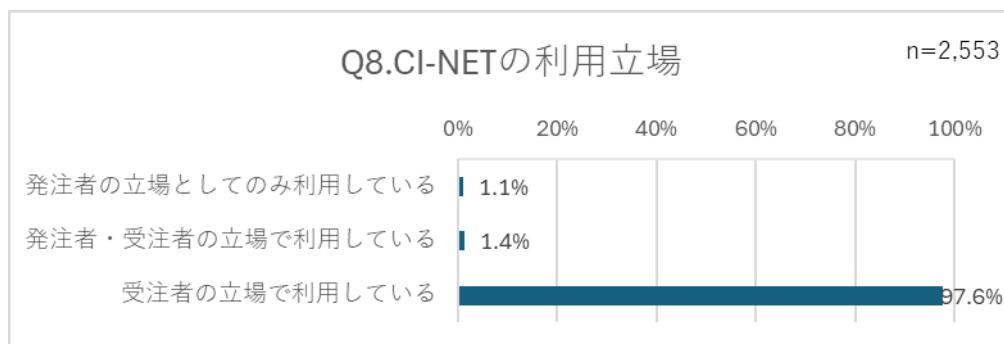


■ 問7 貴社の営業地域を都道府県単位でいくつでも選んでください。



(4) CI-NET 利用の立場

- 問8 貴社では、CI-NETをどの立場で利用されていますか？以下の選択肢の中から1つだけ選んでください。



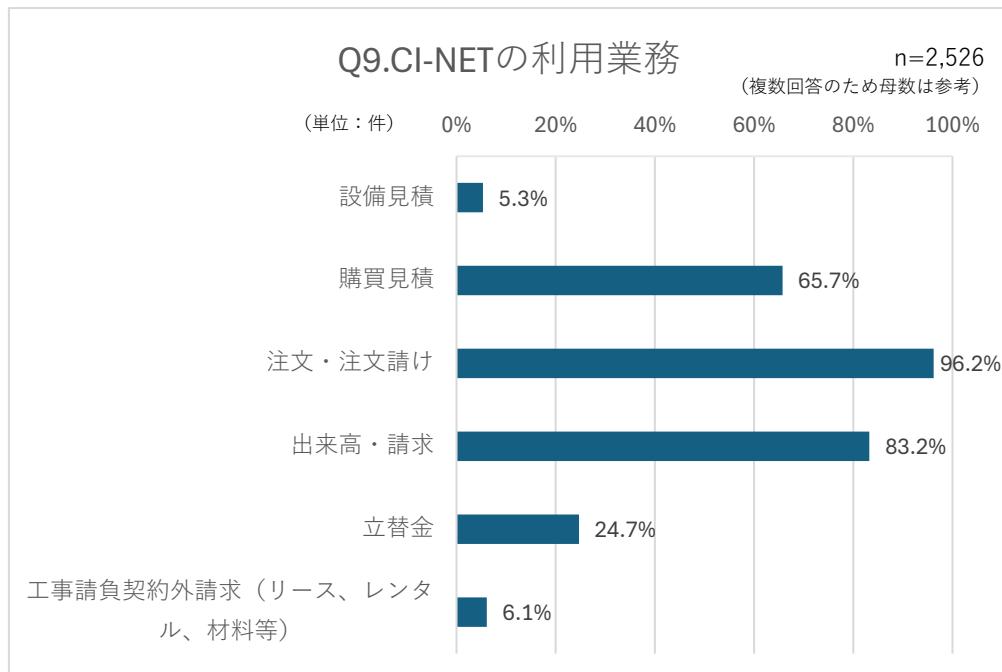
問9では、受注側企業での「CI-NETの利用業務項目」を伺った。

結果を下図に示す。要点は以下のとおり。

- 特に「注文請け」が多く、全回答者の9割以上が利用している。
次いで「出来高報告・請求」が多く、全回答者の8割程度が利用している。前年度から2.8%増加している。
- 「設備見積」は5.3%、「工事請負契約外請求」は6.1%が利用している。

(5) CI-NETの利用業務

- 問9 貴社内で日常的にCI-NETでご利用いただいている業務を、以下の選択肢の中からいくつでも選んでください。

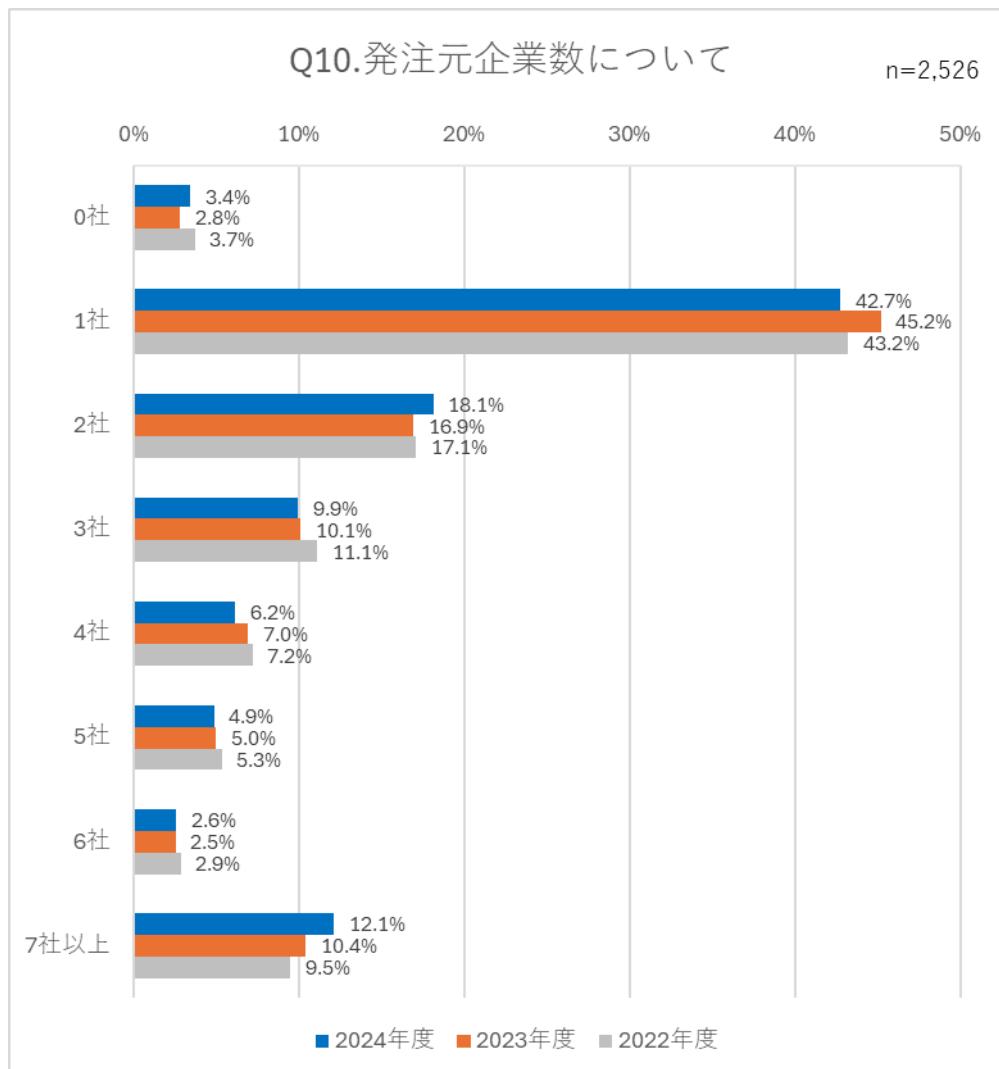


問10では、受注側企業に、現在のCI-NET取引先「発注元企業数」を伺った。結果を下図に示す。要点は以下のとおり。

- 3カ年の推移を比較すると、全体の構成比に大きな変化は見られないものの、「7社以上」と回答した企業の割合が増加傾向にあり、前年比で27社増加した。

(6) 現在の発注元企業について

- 問10 貴社が現在 CI-NET で取引を行っている発注元企業数を、以下の選択肢の中から1つだけ選んでください。



問 11～12 では、発注元企業の「企業名」および当該発注者との取引で「今後拡大して利用したい業務」を伺った。

結果を下表に示す。要点は以下のとおり。

- 一部企業への「出来高報告・請求」の拡大希望が多いほか、「工事請負契約外請求」「立替金」の利用希望が一定数見られる。

- 問 11 貴社が現在 CI-NET を行っている発注元企業について、以下の空欄に具体的に発注者名を、5 社までご記入ください（6 社以上の場合は、契約件数の上位 5 社）。
- 問 12 問 11 で回答された発注元企業について、CI-NET で拡大してほしい業務（例えば注文請けだけでなく出来高請求まで拡大してほしい等）がございましたら、以下の選択肢の中からいくつでも選んでください。

※ このうち「発注元企業側が既に現在利用している業務」については、下表にて [] で示す。

回答結果（上位 10 社）×今後拡大を希望する業務

No.	企業名	回答数	拡大を希望する業務					
			設備見積	購買見積	注文・注文請け	出来高・請求	立替金	工事請負契約外請求（リース、レンタル、材料等）
1	清水建設	790	3	40	48	56	27	31
2	鹿島建設	787	6	37	41	47	15	23
3	大林組	608	4	23	31	29	28	22
4	竹中工務店	546	5	31	32	33	11	12
5	安藤ハザマ	369	2	17	17	20	8	16
6	フジタ	300	1	15	19	33	15	21
7	戸田建設	293	3	27	27	89	24	11
8	三井住友建設	191	0	16	11	15	12	8
9	西松建設	176	1	16	16	64	17	14
10	五洋建設	151	1	12	16	55	13	6

2.2. 今後の展開（受注者の立場）

問13～14では、今後新たにCI-NET導入を希望する発注元企業の「企業名」および具体的な「CI-NETを利用して実施したい業務」を伺った。

結果を下表に示す。要点は以下のとおり。

- 利用希望業務は、「購買見積」、「注文・注文請け」、「出来高・請求」の3業務が多い。

(1) 今後CI-NETを導入してほしい発注元企業

- 問13 貴社が、電子化率を向上させるためにCI-NETを導入してほしい発注元企業があれば、以下の空欄に具体的に企業名を、5社までご記入ください。
- 問14 問13で記入していただいた発注元企業と、CI-NETで行いたい業務について、以下の選択肢の中から、いくつでも選んでください

回答結果（上位10社）×CI-NETで行いたい業務

No	企業名	回答数	CI-NETで行いたい業務					
			設備見積	購買見積	注文・注文請け	出来高・請求	立替金	工事請負契約外請求(リース、レンタル、材料等)
1	大成建設	53	1	45	50	52	24	9
2	佐藤工業	20	0	18	20	20	12	6
3	松井建設	19	1	17	17	17	6	5
4	イチケン	18	0	10	17	12	2	1
5	鉄建建設	18	0	12	18	18	4	3
6	熊谷組	18	2	11	15	17	9	5
7	錢高組	18	0	17	18	17	11	4
8	大和ハウス工業	16	0	13	15	15	7	2
9	飛島建設	16	1	14	16	16	4	3
10	東洋建設	13	0	9	13	11	2	1

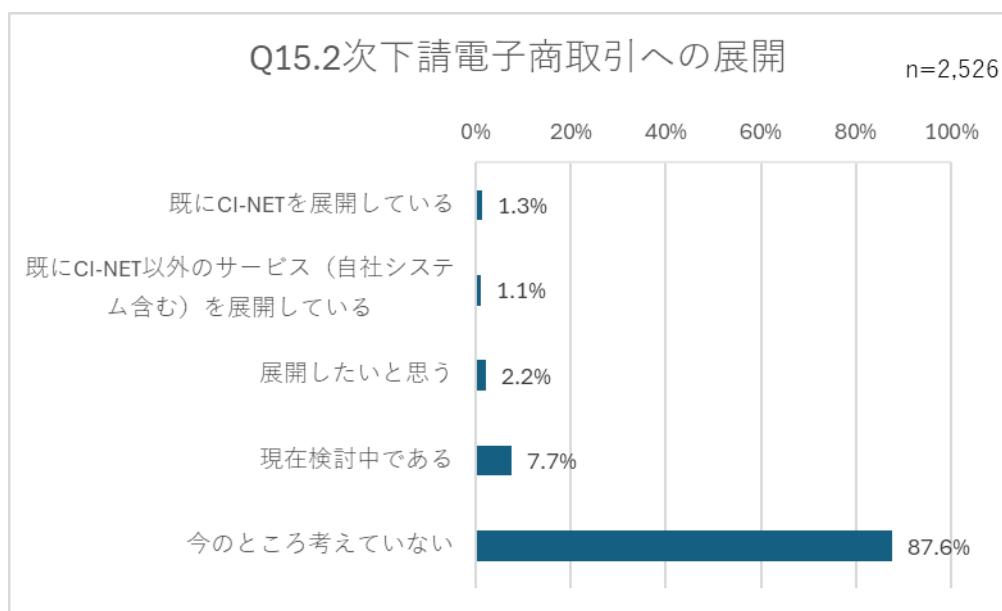
問15～17では、受注側企業における「2次協力会社への電子商取引の展開希望」および具体計画の状況を伺った。

結果を下図に示す。要点は以下のとおり。

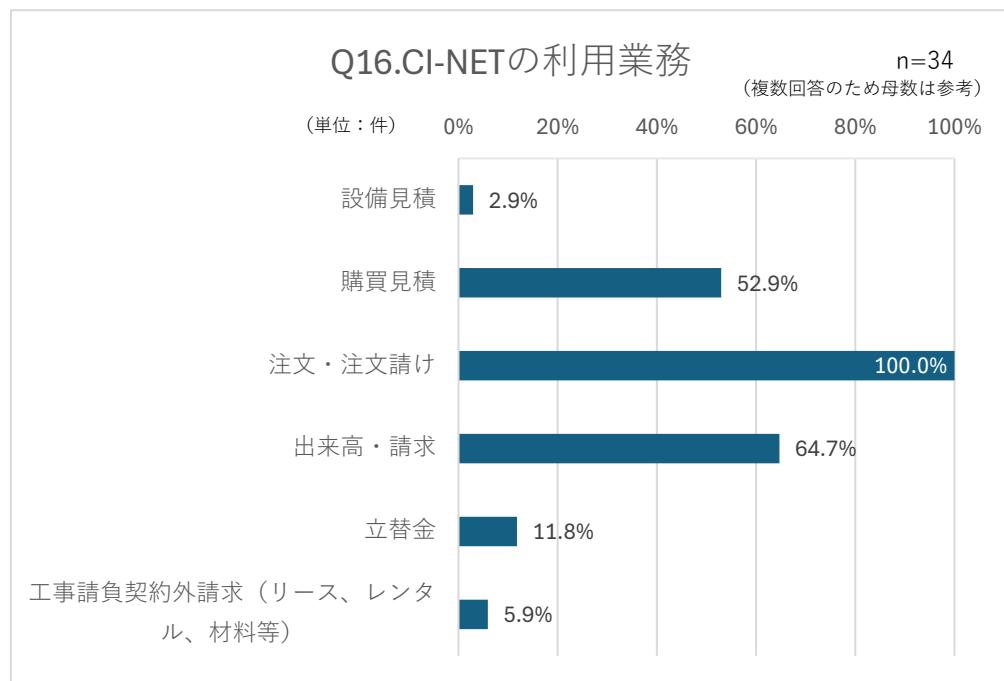
- ・ 全体の1.3%にあたる34社が「既にCI-NETを展開している」、1.1%にあたる29社が「既にCI-NET以外を展開している」と回答した。
- ・ 9.9%にあたる249社が「展開したい」「検討中」と回答した。
- ・ 既にCI-NETを展開している34社は、全社(100%)が「注文・注文請け」を展開している。また、34社の半数以上が「出来高・請求」と「購買見積」も展開している。
- ・ 具体的計画の内容については、「徐々に展開中」、また「二次協力会社より要望があつた」とする回答が見られた。
- ・ 2023年度の調査結果
「展開したいと思う」 4.6%、現在検討中 7.1%、考えていない 88.3%

(2) 2次下請電子商取引への展開

- 問15 貴社が1次下請業者で電子商取引をご利用の場合、貴社の2次下請業者に電子商取引を展開したいとお考えですか？



- 問16 問15.で「1. 既にCI-NETを展開している」を選んだ方は、展開している業務をご回答ください。



- 問17 問15.で「3. 展開したいと思う」を選んだ方は、具体的な展開の計画等があればご記入ください。

「具体計画」として回答された内容

導入済	現在導入済みで、徐々に展開中。 注文書・請書の発行処理を電子に検討中 注文請書 紙媒体の削減 電子での注文書・請書締結 ペーパーレス化・印紙負担軽減・社内情報共有
対応中	今後検討していく。 展開したいが業者にまだその能力がない。 協力会社が対応可能であれば展開したい。
意向はある	具体的計画はございませんが、しくみ等を伝えて導入を促している状況です。 二次協力会社より要望があった

2.3. 社内システムとのデータ連携方法

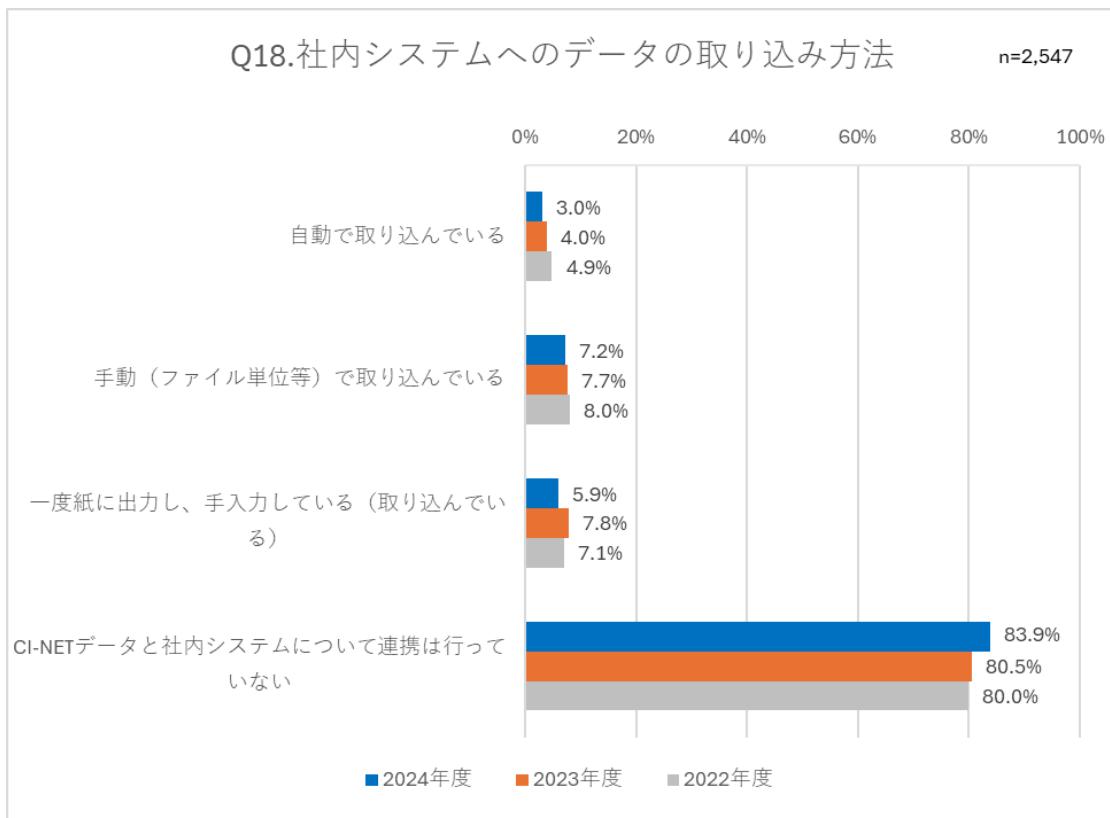
問18～21では、「社内システムへのCI-NETデータ連携状況」について伺った。

- ・ 社内システムへのデータ取込みを行っている企業は、全体の16.1%（411社）。
- ・ 自動取込みを実施している企業は全体の3.0%（77社）、手動（ファイル単位等）で取込んでいる企業は7.2%（183社）、紙出力したもの的手入力して取込んでいる企業は5.9%（151社）。
- ・ 取込みを実施している企業411社の取込み先は、56.4%（232社）が自社構築システム。次いで、市販サービスでは「富士通JAPAN株式会社」（10.7%、44社）及び「日本電気株式会社」（3.9%、16社）の提供商品への取込みが多い。

2023年度の調査結果と比較すると、同様の比率を示している。

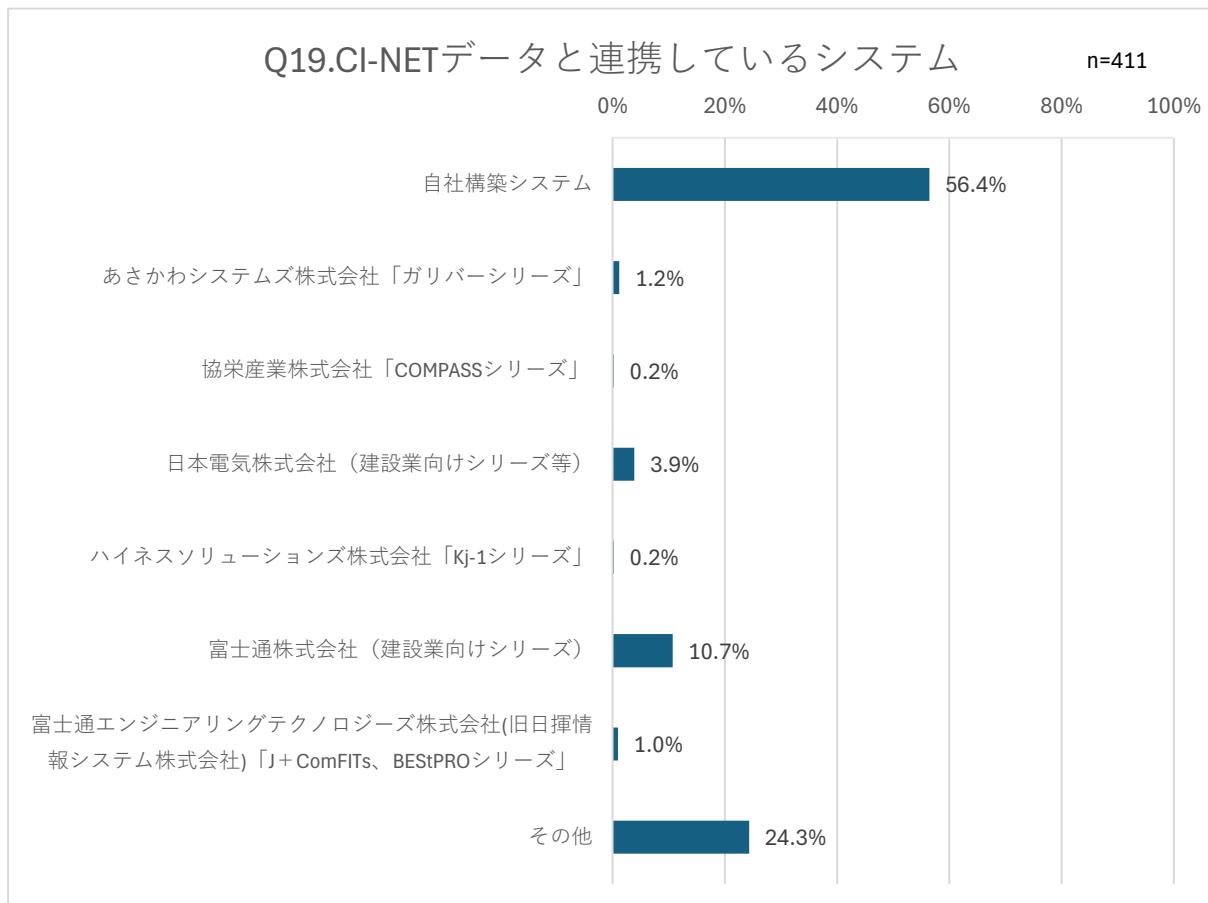
（1）データの取り込み方法

- 問18 社内システム（自社構築システム、業務パッケージシステム等）にCI-NETデータをどのように取り込んでいますか。以下の選択肢の中から1つだけ選んでください。



(2) 連携しているシステム・ソフトウェアについて

- 問19 社内システムとCI-NETデータを連携している場合、どのようなシステムと連携していますか。



「その他利用システム名」で挙げられたシステム

分類	No.	回答	回答数
システム名称	1	株式会社建設ドットウェブ「どっと原価」	4
	2	株式会社コンストラクション・イーシー・ドットコム「CIWEB」	4
	3	株式会社内田洋行 I T ソリューションズ「PROCES.S」	2
	4	サイボウズ株式会社「kintone」	2
	5	日本電気株式会社「LitesNEO」	2
	6	株式会社建設ドットウェブ「どっと原価 NEO」	2
	7	応研株式会社「建設大臣」	2
	8	株式会社オービック「OBIC7」	2
	9	株式会社アイ・ジェイ・エス「売上原価 Pro」	1
	10	信金中央金庫「ケイエール」	1
	11	株式会社 OSK 「eValue シリーズ」	1
	12	株式会社レツツ「レツツ原価管理 Go2」	1
	13	フリー株式会社「freee」	1
	14	株式会社マネーフォワード「マネーフォワード」	1
	15	石田データサービス株式会社「こうじやさん 二の丸」	1
	16	富士通 Japan 株式会社「AZCLOUD Saas WEBCON（出来高プラン）」	1
	17	弥生株式会社「弥生販売」	1
	18	株式会社 MC データプラス「グリーンサイト」	1
	19	ノエシス株式会社「コモード」	1
	20	株式会社コスマ・ソフト「プラネスト Bitz」	1
	21	応研株式会社「販売大臣 NX」	1
	22	株式会社シーエスエー「積算らいでん」	1
	23	富士通ネットワークソリューションズ株式会社 基幹システム	1
	24	株式会社全銀電子債権ネットワーク「でんさい」	1
	25	石田データサービス株式会社「こうじやさん 二の丸 EX v2」	1
	26	株式会社ラクス「楽楽販売」	1
	27	株式会社アイ・ジェイ・エス「工事原価 Pro」	1
	28	株式会社オービックビジネスコンサルタント「建設奉行」	1
	29	株式会社大塚商会「SMILEV」	1
提供元企業名のみ	30	株式会社コンストラクション・イーシー・ドットコム	5
連携なし、その他、不明	31	その他システム	8
	32	不明	5
	33	Excel で管理	3
	34	自社構築システム	2

- 問 20 <「日本電気株式会社（建設業向けシリーズ等）」を選んだ方へ>
商品名をご記入ください。

商品名	件数
LitesNEO	9
AOSign	1
BUILD-U21	1
EXPLANNER/C	1
無回答・不明・無効回答	4

- 問 21 <「富士通 Japan 株式会社（建設業向けシリーズ）」を選んだ方へ>
商品名をご記入ください。

商品名	件数
WEBCON	32
AZCLOUD SaaS WEBCON	2
azmarche	2
WebSERVE 建設	1
GLOVIA	1
みずほ電子債権決済サービス	1
富士通マーケティング	1
無回答・不明・無効回答	4

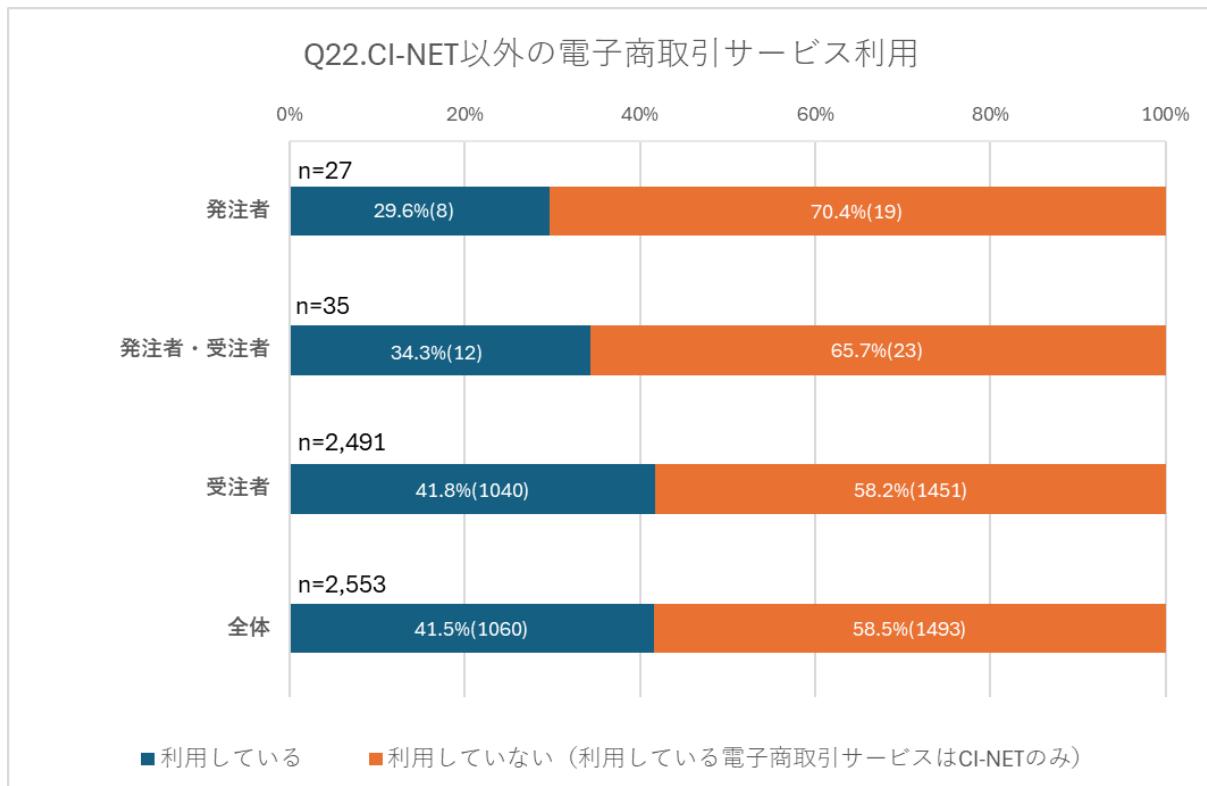
(1) CI-NET 以外のサービスについて

問 22～25 では、「CI-NET 以外に使用しているサービス・ソフトウェア」および「当該システムを利用して実施されている業務内容」を伺った。

結果を下記図表に示す。要点は以下のとおり。

- 受注者として利用している企業は、全 2,941 の回答者のうち約 4 割（1,040）が「CI-NET 以外を利用している」と回答した。
- 具体的なサービス名は、「BtoB プラットフォーム」（336）が特に多く、次いで「SUPER-TRIO」（181）、「Bill One」（103）が多い。（問 23）
- 「SUPER-TRIO」「建設 WAO」「建設サイト・シリーズ」は、購買見積～請求がどれも同程度の割合で利用されており、一気通貫利用が多いことが伺える。その他のサービスは、「注文・注文請け」または「請求」のいずれかの利用が特に多く、これら 2 業務を基点にしつつ、一部利用者では他業務へも拡大されている様子が伺える。（問 24）
- その他の利用業務として、完成報告書、安全書類、契約書、工事請負契約外請求、立替金処理、などが挙げられた。（問 25）

■ 問 22 貴社は、CI-NET 以外の電子商取引のサービスを利用していますか？



- 問 23 CI-NET 以外の電子商取引のシステムをご利用されている方は、利用されているシステム名を教えて下さい
- 問 24 問 23 でご回答いただいたシステムを利用して実施されている業務内容を、以下からいくつでも選んでください。

回答結果（CI-NET 以外の電子商取引システム上位 10 システム）× 実施している業務

No	システム名	回答数	利用業務					
			設備 見積	購買 見積	注文・ 注文請け	出来高	請求	その他
1	BtoB プラットフォーム	336	2% (7)	18% (60)	63% (211)	48% (161)	88% (296)	3% (9)
2	SUPER-TRIO	181	7% (12)	80% (144)	92% (166)	98% (178)	99% (180)	4% (8)
3	BillOne	103	0% (0)	1% (1)	10% (10)	27% (28)	98% (101)	3% (3)
4	建設 WAO	93	3% (3)	75% (70)	87% (81)	83% (77)	89% (83)	5% (5)
5	クラウドサイン	90	0% (0)	7% (6)	94% (85)	6% (5)	8% (7)	3% (3)
6	CECTRUST-Light	51	0% (0)	14% (7)	90% (46)	18% (9)	20% (10)	12% (6)
7	デジタルビルダー	42	2% (1)	2% (1)	21% (9)	21% (9)	100% (42)	0% (0)
8	easyHousing	32	0% (0)	6% (2)	97% (31)	25% (8)	56% (18)	0% (0)
9	EDI	30	7% (2)	40% (12)	87% (26)	40% (12)	40% (12)	0% (0)
10	建設サイト・シリーズ	27	11% (3)	74% (20)	89% (24)	89% (24)	89% (24)	19% (5)

※ 各サービスの利用母数（回答数）に占める業務ごとの回答数の割合で色分け。

※ 回答いただいた結果を記載しているため、誤回答等を含む。

※ 上表のうち発注側企業からの回答は 2 社のみ。

- 問 25 問 23 で「6. その他」とご回答された方は実施しているその他業務を具体的にご記入ください。

電子入札
文書のやり取りはほとんど PDF で、それをメールに添付しているため
完成通知書添付など
基本契約書
完了報告書
立替金処理
署名・捺印が必要な書類のやり取り
グリーンサイト
支払通知
グリーンサイト
安全書類
控除金明細、確認
資材購入報告表の作成や支払通知書の印刷 等
工事写真提出
会社情報 支払通知書のみ
契約
契約書締結業務
納品書
工事請負契約外請求
完成報告書
安全衛生関係 工事管理等
安全書類

支払通知書
完成検査願
図面の観覧
経理伝票 給料計算 決算業務他 、 残高確認 給料支払い 業者支払い 公金支払い他
支払通知の確認
見積り 出来高請求 注文請け等
基本契約書
電帳法
安全書類等の提出
就労カードの作成、CCUSへの登録作成
契約書
作業報告書作成等
請求書のアップロード
工事請負契約外請求
契約
支払い予定表 ★ 翌月の支払い確定表 全額振込みの為 ①弟子取引費 会費 現場毎の協力費 差し引い分の振込額
電子契約
検収兼振込通知
各作業所電話帳一覧（案内図）を閲覧ダウンロードできる
立替金
仕入業者の請求書
完了届
安全書類
建築見積回答、基本契約書
支払通知
控除（立替金）
契約書管理
安全書類
現場の情報公開
派遣契約締結
契約書
従業員管理
電子書面（契約書）
企業情報・基本データー・下請負業者情報等
契約書
注文請けの電子署名
会社情報の報告（代表者変更等）
運送業
企業間のサービス利用契約の際に使用。契約業務の電子化。
契約外請求
CI-NETに準拠しない契約業務
契約書締結等
電子契約書
支払通知書
帳票閲覧
小口、リース

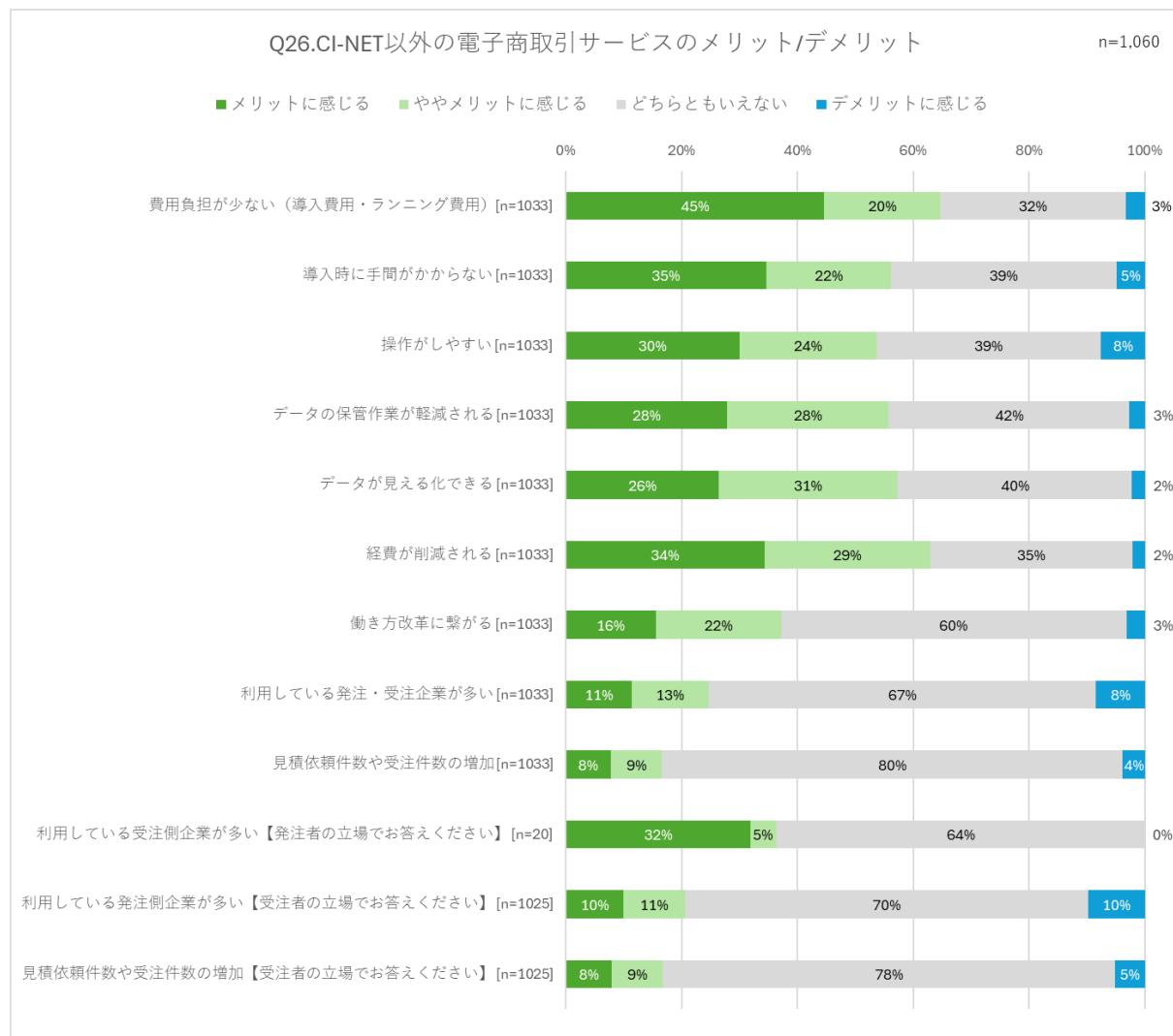
(2) CI-NET 以外のサービスについて

問 26 では、「CI-NET 以外に使用している電子商取引サービスのメリット・デメリット」を伺った。

結果を下図に示す。要点は以下のとおり。

- CI-NET 以外のサービスへの評価として、「費用負担が少ない」がメリットだと感じている回答者が多く 65% となった。
- その他、「導入の手間がかからない」「操作がしやすい」「データ保管作業の軽減」「データの見える化」「経費削減」については、メリットと感じている回答者が多くみられる。
- 「利用企業の多さ」は、「どちらともいえない」とする回答が多いものの、中でも「利用している受注側企業が多い（発注者の立場）」はメリットと感じる回答者が多い。

■ 問 26 問 22 でご回答いただいたサービス（CI-NET 以外でご利用の電子商取引サービス）について、以下の項目に対してどのように思われますか。 それぞれの項目ごとに、貴社のお考えに近い選択肢を 1 つずつ選んでください。



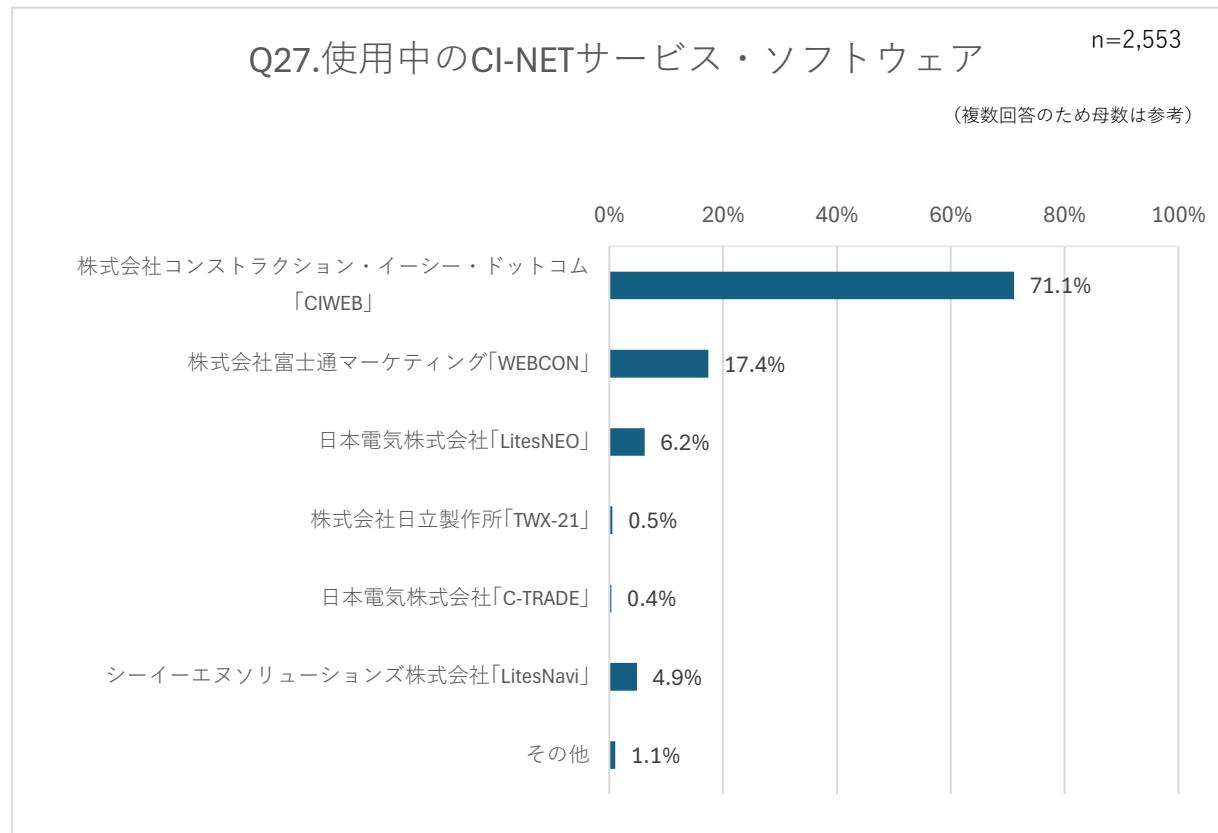
2.4. 利用システム

問27では、「使用しているCI-NETサービス・ソフトウェア」を伺った。結果を下図に示す。要点は以下のとおり。

- 「CIWEB」が最も多く、次いで「WEBCON」、「LitesNEO」が多い。
- 2023年度の調査結果と比較すると、同様な比率になっている。

(1) CI-NETサービス名

- 問27 現在使用しているCI-NETサービス・ソフトウェアを教えてください。



2.5. CI-NET に係る要望

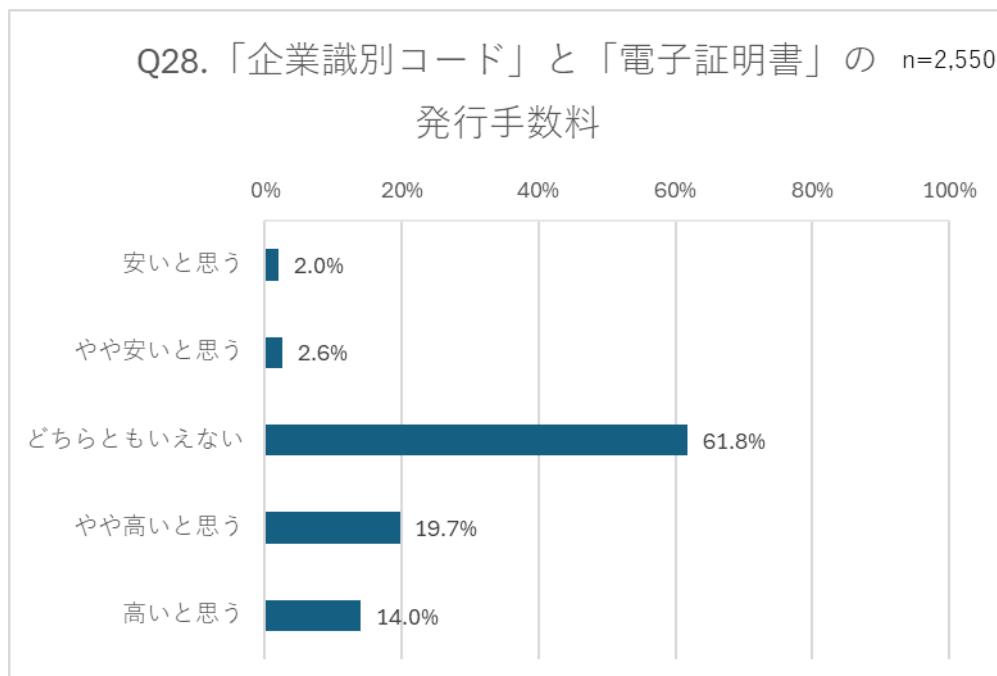
問 28～29 では、「CI-NET 申込手続き」について伺った。

結果は下図の通り。要点は以下のとおり。

- 企業識別コードと電子証明書の発行手数料は、「どちらともいえない」が 61.8%を占めるが、「高い」とする回答が 33.7%と一定数見られる。(問 28)
- 建設業振興基金への要望は、「申込み手続きの簡素化」が特に多く 73.0%となった。自由記述による回答でも「手続きの電子化」を希望する声が見られる。(問 29)

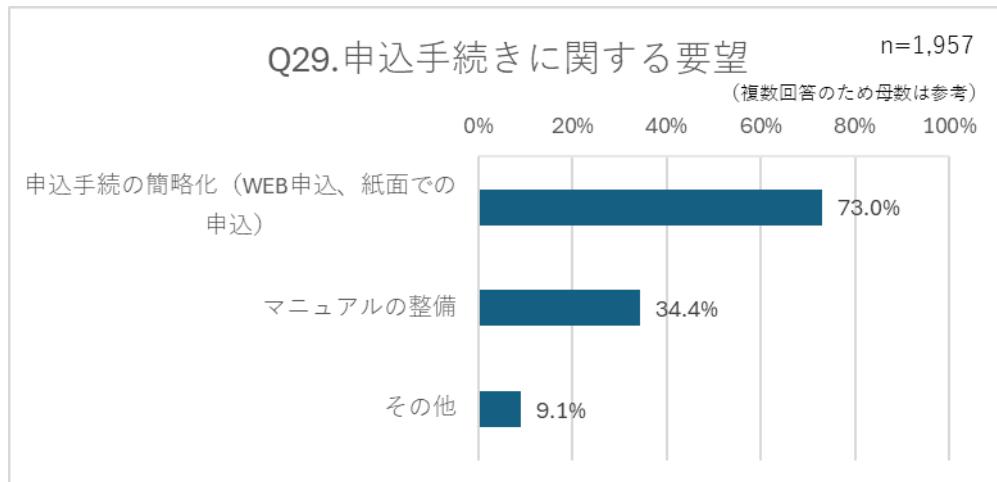
(1) 「企業識別コード」と「電子証明書」の発行手数料

- 問 28 建設業振興基金が発行している「企業識別コード」と「電子証明書」の発行手数料について、どのようにお考えですか。以下の選択肢の中から 1 つだけ選んでください。



(2) 申込手続きに関する要望

- 問29 建設業振興基金が行っている「企業識別コード」と「電子証明書」の発行業務について、日ごろ感じておられる改善点を、以下の選択肢の中から、いくつでもお選びください。また、ご意見やご要望、課題、お困りのこと等、ご自由にご記入ください。



「その他」として、主に以下の回答が寄せられた。

回答分類	回答数
手続きの電子化希望	6
企業識別コードと電子証明書の有効期限（更新タイミング）の統一希望	6
操作が難しい	5
手数料に対する不満	4
有効期限の延長希望	4
ヘルプデスクの強化希望（電話問い合わせ設置）	3
手続きの高速化希望	1
まだよくわからない	6
その他	5
特になし	30

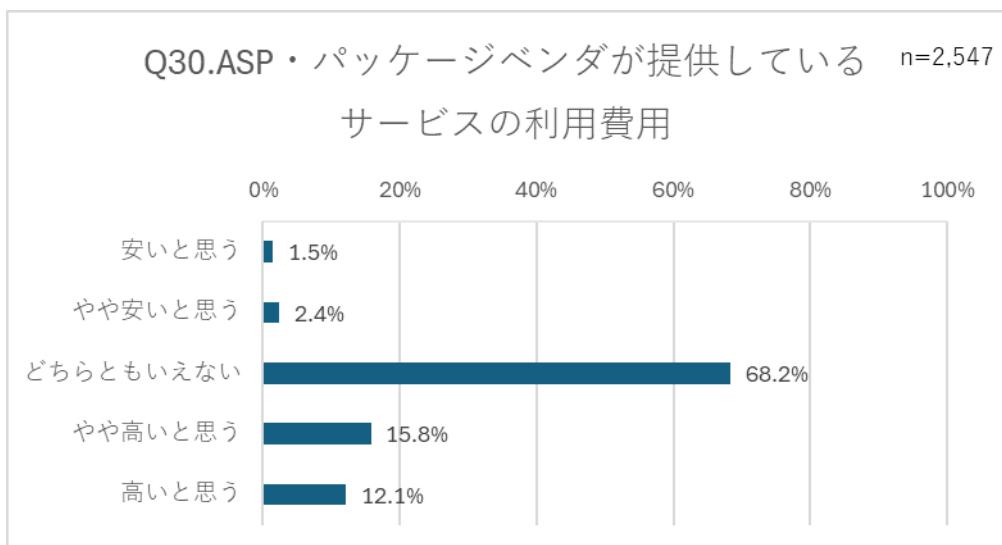
問30～31では、「CI-NETのASP・パッケージベンダが提供しているサービス」について伺った。

結果は下図の通り。要点は以下のとおり。

- サービス利用費用は、「どちらともいえない」が68.2%を占めるが、「高い」とする回答が27.9%と一定数見られる。(問30)
- ベンダサービスへの要望は、「申込み手続きの簡素化」が特に多く40.8%だが、次いで、「ヘルプデスクの充実」「マニュアルの整備」がそれぞれ約25%となった。(問31)

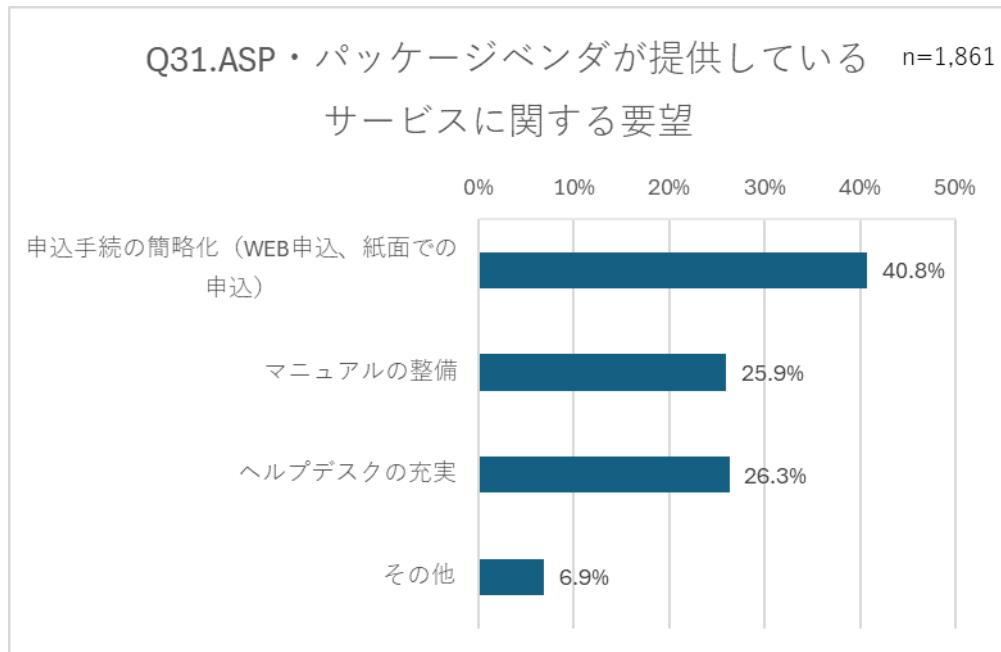
(3) ASP・パッケージベンダが提供しているサービスの利用費用

- 問30 CI-NETのASP・パッケージベンダが提供しているサービスの利用費用について、どのようにお考えですか。以下の選択肢の中から1つだけ選んでください。



(4) ASP・パッケージベンダが提供しているサービスに関する要望

- 問31 CI-NETのASP・パッケージベンダが提供しているサービスについて、日ごろ感じておられる改善点を、以下の選択肢の中から、いくつでもお選びください。また、ご意見やご要望、課題、お困りのこと、追加してほしい機能等、ご自由にご記入ください。



「その他」として、主に以下の回答が寄せられた。

回答分類	回答数
利用料金の引き下げ	13
操作性の改善	11
機能改善要望	6
利用していない	6
画面閲覧性の向上	6
ヘルプデスク・サポートの強化	6
システム統一	3
煩雑過ぎる	2
ヘルプデスク・サポートへの謝意	2
データ保存量拡張	2
他社の方が使いやすい	2
有効期限の延長	2
手続きの簡素化	2
高速化	2
ノーコメント	1
講習会の開催要望	1
セキュリティの問題	1
その他	4
設問の意図がわからない	14
特になし	89

以上